



大阪・京都教区報

発行責任者 久敬 晴地 磯高 主 大阪教区事務所 06-6621-2179 京都教区事務所 075-431-7204 通算号数 大阪484号、京都744号

歩みを感じて

この3月末で定年退職を迎えることを配慮して下さり、自身の歩みを振り返るチャンスを与えていただいたことを感謝し、お礼申し上げます。

1980年 聖公会神学院を卒業後大阪教区大阪聖三一教会に赴任。(桃山学院高等学校非常勤)

1986年 立教中学校チャプレン。

1992年 大阪教区聖ガブリエル教会(聖公会生野センター・こひつじ乳児保育園チャプレン)

2001年 平安女学院チャプレン(03年から中高校長)

2005年 京都教区聖光教会(聖光幼稚園園長)

2016年 桃山学院大学チャプレンと、勤務させていた

司祭 テモテ

宮嶋 みやじま

眞 まこと

いただきました。信仰的には、按手年月日などを思い出さねばならないのですが、生来のなんでも屋として、様々なことに関



わらせていただきたい た働き場のことが思い浮かびます そし て、教育の場に多く立たせていただいた いたことを感謝しています。小学校だけはご縁がありませんでしたが、乳児から大学生迄、更に信徒として育てていただいた大阪教区川口基督教会での日曜学校教師経験や、スマイル研究

3月号の紙面

- 江渡執事・柳原執事司祭按手式／大阪教区婦人会被献日礼拝／
- デイビッド司祭からの手紙.....②③
- OK委員会だより／耐震対策工事竣工式.....④
- 教会紹介／常置委員会・局長会議報告.....⑤
- 諸記念／主教巡回予定.....⑥

所などでの人間関係訓練も含めると、一通り生涯学習の各世代の場に立ち、それが自分の人間としてのあり方の礎になつていると感じます。 神学院・立教時代に出会った、ファイリピン。大阪聖ガブリエル教会・聖公会生野センター時代の韓国。現桃山時代の学生と毎年訪れるインドネシアという、

3つの国に、顔と顔がつかない友人をいたただいたことも大きな感謝です。 ①自分を大切に、主体的に動いていくか。 ②理解しようという努力を放棄していかないか。 ③「有難い」を感じ、伝えるか。特に身近な人に。

「神は、おくびよりの霊ではなく、力と愛と思慮分別の霊をわたしたちにくださったのです。」 (Ⅱテモテ1章7節) (桃山学院大学チャプレン)

「ダバール」

「神様とわたし」 みなさんこんにちは！ 例の「距離をあけて」の文字や透明の仕切り、私は未だに慣れません。 遮断している物をリアルに見せられると寂しいものです。人々がなぜ元気がないんだらうと考えた時、遮断されて改めて人との触れ合いを必要としていたことに気づかされたからではないでしょうか。

でもですね、私はそこから更に気づいちゃったんです。実際に触れ合わなくても、人と触れ合うことは出来る、って。相手にニコツツしたり、しょうもないことを言って笑わせたり、思いやりのある言葉によって、心に触れることは出来る。むしろその方がぐっと相手との距離は近くなりますしね！

今色んなご事情で教会へ行くことが出来ない方もおられると思いますが、そんな時でも神様との触れ合いは思う存分出来まますよ。だって、「いつだってソーシャルディスタンスなんて関係なくい！」ですから。 (聖光教会 井上 紗綾子)

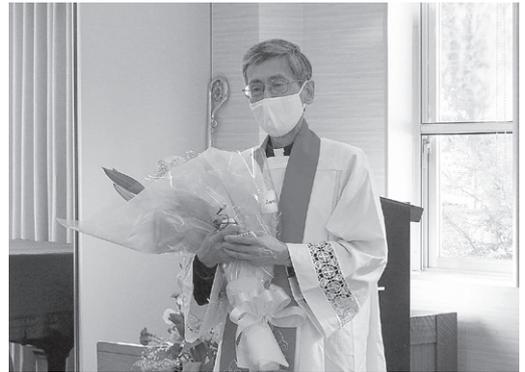
終わりが始まり

まず、神さまのお許しにより司祭按手の時を与えていただいたこと、またこの日のために祈りお支えいただいた皆さまに深く感謝を申し上げます。

10歳の受洗からの信仰生活の棚卸のつもりで始めた2005年からのウイリアムス神学館での聴講、2015年にサラリーマンの定年退職を前にしての入学。2016年に桑名と四日市でのご奉仕を与えていただき、3月末の人生で2回目の定年を前に司祭按手の2月23日を迎えました。私のこれまでの歩みは、いつも口癖のとおり「終わりが

おめでとう!

えとよしなお 江渡由直執事 司祭按手式 2月23日(火・祝)



始まり」の導きをいただいております。この日も四日市聖アンデレ教会でご臨席の皆さま、またインターネットの中継を見ていただいた皆さま、ご自宅や施設でそれぞれの場で祈りをいただき、新たな始まりの時をいただきました。

これからは牧者として、派遣されたこの地で、お一人お一人の信仰生活の年輪に寄り添ってご奉仕を続けていければと願っております。どうぞ、これからも御心に適う業を全うさせていただきます。祈りお支えください。感謝

(司祭 江渡 由直)

◆◆◆新司祭誕生に寄せて◆◆◆

去る2月23日(火・祝)、四

日市聖アンデレ教会に於いて聖職按手式が13時から執り行われまし。参加者は伝道区長の門脇光禪司祭始め7名の教役者と三重の各教会代表の方々、江渡先生の神学館恩師である岩城聰司祭、孤野から駆けつけて下さいました吉村退職司祭28名の総勢35名。コロナ禍のもと密にならぬよう会場の配席も綿密にされ、厳かな奏楽と共に始まりました。奏楽、聖歌共サプライズでオルガン、澄みきったバイオリンの心温まる音色に会場一杯の感動でした。奏者は伊勢聖マルコ教会の岩田光正司祭の佳江奥様がオーガニスト、バイオリンは娘さんの優里愛さんです。伝道区で行われたことでアットホームな手作り感あふれる、本当に素晴らしい按手式でした。その様子が動画で配信され、いつでも誰でも観られることは、当日列席できなかった方に朗報でした。神様は私たちが求めているものを必要な時にお与え下さる事を共に感謝し、これからの新司祭のお働きがより充実されます様お祈りいたしております。

(桑名エビファニー教会)

先田 泰子

大阪教区婦人会 被献日礼拝

去る2月2日(火)



10時30分大阪教区婦人会は西宮聖ペテロ教会において被献日礼拝をお守りいたしました。昨年は被献日が主日と重なって行われておりましたので礼拝は各教会で行われませんでした。今年も新型コロナウイルスの影響のため中止せざるを得なくなるのではと危惧されましたが各教会代表者1〜2名の参加人数制限の制約をして無事に執り行われました。年間で一番厳寒中であるはずが、当日は穏やかな暖かい気温に恵まれ、西宮聖ペテロ教会の庭園の柑橘類の実が鈴なりになっているのが目に留まりました。(お土産にいただき感謝)

聖餐式は、司式者アンデレ磯田望司祭さま、説教者テモテ内金山将司司祭さまで行われまし。お説教でのお話しは神様からの召命・献身について語られ、心に響くものを感じ受けました。また日本聖公会婦人会は被献日を創立記念日と定めか

つては被献日献金は婦人献身者のために用いられることに決められていましたが、現在は教会に連なる人・神学生・聖職候補生のために用いられ支援されています。当日の参加者28名(内教役者5名)、信施金132,510円。全額を日本聖公会婦人会におさげいたします。緊急事態宣言が発出中の折、礼拝後ゆっくり交流を持てなかつたのが残念でした。

会場を提供下さった西宮聖ペテロ教会とご尽力いただきました皆さま、ありがとうございます。主に感謝いたします。

(教区婦人会会長)

山村 小夜子



2月27日(土) 富山聖マリア教会にて無事司祭按手を受けることが出来ました。当日は39名(内聖職7名)の方が参加をしてくださいました。とても嬉しかざりです。また、式の様子はFacebook Liveで配信され

司祭按手

やなぎ はら たけ ゆき
柳 原 健 之 執事
司祭按手式
2月27日(土)

ておりましたが、画面越しに見守ってくださったっていた方々にも感謝を伝えたいと思います。

按手式を前にして、執事の際もそうでしたが、「実際に手を置かれるまでは、何が起るかわからない」という言葉を常に心に覚えていました。按手式の公示には「神のお許しがあれば、聖職按手式を執行し」とあります。また、諸祈祷の「聖職按手のため」の祈りの中には「主教の心を導き、軽々しく手をおくことなく」とも記されています。按手とは神様がなさることであり、按手式の直前であろうと取り消すことは簡単なことです。緊張感を持ちつつ、手を置かれるその時までを過ごしました。

実際に手を置かれた時、ずしっとした重みがありました。今回は7名の方が手を置いてくださいました。京都教区の牧師が、人数からすれば3倍以上の重みがある手の上にあることを想像しつつ、重みを受け止めました。富山に派遣されてから5年目を迎えようとしています。まだまだ至らぬ点もあるかと思いますが、皆様からのご指導・ご鞭撻を受けつつ、神と人にと仕えていきたいと思えます。

(司祭 柳原 健之)

◇◇◇同じ時間に◇◇◇

ちらちらと舞う雪に洗われた暖かい春の日差しの中で、この日を無事に迎えることができました。聖職候補生としてここに赴任され、執事按手と、キャリアを重ねてこられた柳原司祭の按手式が、この富山聖マリア教会にて執り行われたことは、私たち教会員にとっても、嬉しい事でありました。本来であれば、主教座聖堂での按手式となつたと思いますが、富山で行われたからこそ列席し、お祝い下さった方々もいらつしゃいました。幼少期を過ごされた舞鶴時代をご存じの、教団の牧師様が、富山で司牧をなさっておられ、この良き瞬間を共有してくださいました。神様のもとで繋がったのです。神様の時間を超えて「共にいる」を実感させて下さいました。今回、私はライブ配信にて按手式に出席し、同じ時間を共有し、会衆として、司祭様の誓約を聞き、共に祈ることができました。確かに臨場感には欠けるかもしれませんが、ICTの進化が、離れていても「共にいる」を可能にし、同じ時間に、お祝いできたことを感謝しております。

(富山聖マリア教会)

窪田 広美

海外情報部門だより

デイビット司祭からの手紙

ミャンマーでの軍事クーデターが勃発したニュースが日々報道されています。平和を愛するみなさまは、日々お祈りされていることと思います。この度、ミャンマー聖公会ミッチーナ教区のデイビット司祭と情報交換する中で、現況についてのお手紙をいただきました。教区報でお知らせさせていただきました。各教会における主日の祈りに加えていただければ幸いです。

(海外情報部門)

司祭 松山 健作

敬愛する京都教区と信徒のみなさまへ

みなさん、お元気ですか。私たちのミャンマー聖公会、そしてミャンマーという国のためにお祈りくださり感謝申し上げます。

しかしながら、2月1日に軍事クーデターが起こりました。



デモをする信徒

そのため、多くの人々が安全について懸念しております。そして多くの人々が道端に立ち、民主主義と正義のために、危険を顧みずにデモをしています。

特に私たちのミッチーナ教区の信徒(うち公務員25名)は、市民の不服従運動(Civil Disobedience Movement)に参加しているため、その信徒のためにみなさまの愛と支持をお願いいたしたいと思います。またそのために主日礼拝においても、ミャンマーの民主主義と平和のため、お祈りいただけますようにお願いいたします。

最後にくり返しになりますが、ミャンマーの民主主義を再び甦らせるために、みなさまの支持と関心、そして絶え間ない祈りが必要であることをお伝えいたします。いつも共に励ましてくださることを心より感謝申し上げます。

(ミッチーナ教区 デイビット司祭)

OK委員会だより

今年、大阪・京都特別協働教区運営委員会発足から5年目を迎えます。今年度も委員長に太田幸彦さん(大阪教区)を互選し、すでに「協働ニュース第4号」や昨年の両教区定期教区会において報告しましたように、今年の定期教区会には「教区合併」の議案を提出するべく準備をすすめています。

2016年の時点で課題とされた①財政上の問題 ②主教座聖堂および教区事務所の問題 ③「京都事件」の解決 については、先の協働ニュース第4号にて磯晴久主教・高地敬主教の連名で大きな方向性が示されました。当委員会では、昨年より「宣教」「財政」「教区編成」のワーキンググループを立ち上げて、合併についての具体的な課題について検討を続けています。

また「教区合併」の議案提出について報告されたとはいえず、まだまだたくさん疑問、質問が存在していると思います。運営委員会では、それらを

1. 両教区の基本情報について
2. 宣教の方針・ビジョンに関する

3. 合併手続きおよび準備に関すること
4. 教区主教に関わること
5. 合併後の組織運営に関わること
6. 合併後の宣教体制に関わること
7. 個々の教会(信仰)生活に関わること
8. 会計・財政に関わること

回の管区の決定は、日本聖公会が教区の垣根を超えた新たな宣教体制をつくりだすための大きなチャレンジであると思います。

京都教区の逝去教役者レクイエムでは記念する教役者の略歴が読み上げられますが、かつては多くの教役者が地域を超えて精力的に働かれておられた様子がわかります。

「多様性が生み出す豊かな宣教と牧会―一人よりも二人がよい―祈りの仲間を増やそう」
新たな宣教体制を目指し、互いに手を携えながら歩めるようにと心から願います。

(大阪・京都特別協働教区)
運営委員会
文責…司祭 大岡 左代子



耐震対策工事竣工式

2019年10月から始まった奈良基督教会礼拝堂の耐震対策工事は2020年11月に完工し、2021年2月11日(木・祝)、高地敬主教の司式のもと、竣工式を迎えることができました。

2013年に行った耐震診断で、礼拝堂の耐震性能が不足していることが判明しました。2015年に重要文化財に指定された後、2017年に詳細な耐震診断を実施し、耐震補強案が策定されました。

礼拝堂は文化財建造物ですので、景観や部材の保存を考慮する必要があります。4点に重点を置き補強案が策定されました。①多くの礼拝者の立ち入る施設であるため、一般の建物と同等の耐震性を確保する。②礼



鉄骨バレット補強

拝空間である内部の意匠を保存する。③玄関のある西側の景観を保存する。④当初の部材に手を加える範囲を最小限とする。

実際には次の方策が採用されました。①側廊の天井うらに鉄筋ブレース補強を設置し、身廊部分にかかる南北方向の揺れを外壁まで伝達させる。②建物の裏側(東側)に鉄骨バットレス補強を設置して、東西方向の変形を抑える。他に、天井の落下防止やパイプオルガンの転倒防止、浮いている外壁漆喰の塗り直しも併せて行われました。

当教会につながる多くのの方々のさまざまな奉仕と祈りの結晶として、礼拝堂は美しく、安全・安心な祈りの場として整えられました。心より感謝いたします。

祈りの場所、交わりの場所として、後世につなげることができるよう守っていききたいと思えます。

(奈良基督教会 森本 啓一)

教会紹介 京都編

小浜聖ルカ教会

小浜湾にそそぐ川畔。築130年の礼拝堂は登録文化財に指定され、都会の喧騒をさけて訪れる人々に一服の憩い場所となっています。昨年、聖ルカ幼稚園の新しい園舎が完成しました。園児増加にあわせて礼拝堂に接続して建て増しを重ねた旧園舎は、役目を終えて取り壊されました。全景が現れた礼拝堂の和洋が調和する美しい姿に、先人の祈りと努力に思いをはせています。しかし、写真のとおり礼拝堂本体にも手を加えているため、往年の姿に戻すにはかなりの手直しが必要です。今、信徒・幼稚園関係者共々力を合わせて取り組んでいます。完成の折にはおいでください。

(司祭 古賀 久幸)



京都教区

【常置委員会報告】 2/15(定期)

1. 報告事項

▼主教報告

- 1月31日、ベルナルド大川誠司司祭が逝去された。
- 1月31日、ヨハネ岡野利治主教が逝去された。

2. 協議事項

- 2月4日、奈良基督教会信徒クララ小野恭子さんと京都聖ヨハネ教会信徒エステル平良子さんがウイリアムス神学館の入学試験を受け、入学が許可された。
- 2月5日、奈良基督教会信徒クララ小野恭子さんから聖職候補生志願書が提出された。

- ▼特別協働教区運営委員会
- 各ワーキング・グループで

大阪教区

【常置委員会報告】 2/18(定期)

I. 主教報告及び諸報告

- 2月13日の東北での地震について東北教区から報告が来ている。
- イギリスにもどつておられたクーパー退職司祭が2月8日逝去。79歳。
- 中日本宣教協働区協働委員会が2月5日にオンラインで開催された。

Q & Aの作成に取り組み、2月2日の会議で加筆修正を行った。

- ▼「中日本宣教協働区」協働委員会
- 2月5日にオンライン会議をおこない、各教区報告の後、委員会の活動や目的について意見交換を行った。

2. 協議事項

- 休職中の司祭の復帰について協議した。
- 聖アグネス教会信徒、眞継穰さん、藤村大輔さんを信徒奉事者に推挙することとした。また聖杯奉持(分餐)を許可することとした。
- 聖職候補生志願、推薦、認可、養成のプロセスについて協議した。
- ハラスメント防止委員会が選任した谷克子さん、岡本

【総務】3月11日の東日本大震災記念礼拝は教区HPでのライブ配信とする。

【OK運営委員会】信徒や教役者の疑問に答えるためのQ & Aの最新版を提示した。コロナの影響で信徒への説明が出来ておらず、早急に対応が必要。

- 豊中3教会の合併に向けた進捗について、千松清美司祭から報告があった。
- 川口基督教会の修景事業工事は2月末完了予定。

真知子さん、橋田愛さん、篠田茜さんを相談員として任命することとした。

- 3. 諮問事項
- 人事異動について、可と答申した。(文責・常置委員会書記)

1. 総務局報告

- ▼ 2月23日(火) 京都教区聖職按手式13時〜四日市聖アンデレ教会(江渡由直執事)
- ▼ 2月27日(土) 京都教区聖職按手式10時30分〜富山聖マリア教会(柳原健之執事)
- ▼ 11月23日(火・休日) 定期教区会の前泊についての報告

- 2. 宣教局報告
- ▼ 礼拝部は2月22日(月) 18時30分から、大阪教区/東京教

II. 協議事項及び主教諮問

- コロナ関連対応について各教会で礼拝と総会についての対応が行なわれている。礼拝音楽委員会で現状調査を行っており、情報を各教会へ伝えることとする。
- 4月以降の教役者人事案について承認した。
- 宮本憲氏は4月からウイリアムス神学館に科目聴講生として入学し、教区神学生となる。
- 管区では2022年の宣教協議会の実行委員会を

区/北関東教区/京都教区の礼拝担当部門の代表者で、イースターまたはペンテコステに向けての企画についてのオンライン会議を行う。

- ▼ 3月16日(火) 平和学習委員会は信徒から戦時中体験のお話をお伺いし、管区の戦争体験集にも掲載する。
- 3. 財政局報告
- ▼ 2020年度教区経常費収支決算報告(12月31日)
- ▼ 2021年度牧会補給金の申請報告

- 4. 協議事項
- ▼ 「設備建築献金の運用に関する件」について協議した。
- ▼ 省エネ融資制度について協議した。
- ▼ 京都教区教役者退職金規程に関する確認を行った。(文責・局長会議書記)

- 立ち上げ、検討に入っている。3月21日の臨時教区会の準備について協議した。
- 教区会終了後、京都教区のOK運営委員を迎えて教区合併についての説明、質疑応答を実施する。
- 今年も「み国が来ますように」の祈りの運動を実施する。英語の葉も用意する。
- 聖週の礼拝の持ち方については主教座聖堂参事会でコロナの状況を見据えて協議することとした。

大阪教区関係教役者
4月逝去者記念聖餐式

4月10日(水) 10:30~

- 1日 執事 中西 義之 (1909)
- 4日 主教 ジョン・マキム (1936米)
- 7日 司祭 ジョージ・ウィリアム・ローリングス (1933英)
- 7日 司祭 名出 武 (1945)
- 15日 伝道師 織間 小太郎 (1934)
- 15日 司祭 ベニヤミン 池沢 駿太郎 (1956)
- 15日 司祭 ペテロ 薮本 竹次 (1979)
- 15日 司祭 ジョン・キャメロン・マクドナルド (1993加)
- 17日 司祭 パウロ 藤倉 恒雄 (2001)
- 20日 宣教師 メアリー・ジェーン・オクスラッド (1922英)
- 20日 司祭 ステパノ 井上 俊一 (1983)
- 21日 宣教師 エレノア・メアリー・フォス (2002英)
- 23日 司祭 早川 喜四郎 (1943)
- 28日 主教 ジョン・チャールズ・マン (1967英)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

京都教区関係逝去教役者
4月記念聖餐式

4月17日(水) 10:30~

- 3日 司祭 宇田 梅太郎 (1951)
- 4日 主教 J・マキム (1936)
- 5日 司祭 パウロ 永田 保羅 (1960)
- 6日 司祭 ミカエル 村岡 明 (2019)
- 7日 司祭 名出 武 (1945)
- 9日 司祭 筒井 鋭三郎 (1932)
- 10日 執事 坂口 亀太郎 (1945)
- 10日 司祭 松田 輝三雄 (1977)
- 12日 司祭 パウロ 佐伯 博厚 (1990)
- 13日 司祭 ヤコブ 岡嶋 七朗 (1961)
- 14日 司祭 ヨシュア 文屋 善明 (2019)
- 15日 司祭 ベニヤミン 池沢 駿太郎 (1956)
- 17日 司祭 I・ドーマン(1931)
- 19日 司祭 ヨシュア 伴 我何人 (1993)
- 21日 司祭 W・J・カスバート (1929)
- 21日 司祭 パウロ 高地 時夫 (1992)
- 21日 司祭 サムエル 樋口 孝照 (2014)
- 23日 司祭 早川 喜四郎 (1943)
- 24日 司祭 アブラハム 法用 繁造 (1975)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第3水曜日午前10時30分から、聖アグネス教会で行われます。

洗 礼	孤野聖マリア教会 (伝道所) (12月25日) ペトロ 清水 弘之
堅 信	京都聖マリア教会 (12月12日) パウロ 佐藤 國弘
逝 去 者	西大和聖ペテロ教会 (12月20日) ルカ 中村 泰士 京都復活教会 (12月24日) ヨハネ 梶川 広幸 川口基督教会 (1月12日) ドルカス 河野 庸子 スザンナ 辻 弘子 カタリナ 片山 敬子 イサク 新谷 一 マルタ 荒木 万寿子 高槻聖マリア教会 (1月21日) ヨセフ 西村 逸郎 大阪教区教役者 (2月8日) パメラ・A・クーパー 京都聖マリア教会 (2月13日) エステル 久保 恵子 京都聖ヨハネ教会 (2月15日) ダビデ 豊岡 満

奈良基督教会 (3月1日)
アンデレ 西川 堯夫
魂の平安をお祈りいたします。

主教巡回予定 (4月)

大阪

- 4日 聖ルカ教会(東光学園)
- 11日 大阪聖三一教会
- 18日 (礼拝堂聖別解除礼拝) 大阪城南キリスト教会
- 25日 大阪聖愛教会(堅信式)

京都

- 4日 八木基督教会
- 11日 金沢聖ヨハネ教会
- 18日 桃山基督教会
- 25日 京都復活教会

お詫びと訂正

○合併2号(2月号) 3ページ
京都教区常置委員会報告の特別協働教区運営委員会
・各WGでQ&Aの作成に取り組み、2月中の完成を目指す。
とありますが、「WG」はワーキンググループの略称です。
お詫びし、訂正いたします。
(編集部)